

No. 13

総合病院 土浦協同病院
広報誌 touch (タッチ)
TAKE FREE

touch

contents

ふれあい：鶴沼公園

かけはし：ひろたこどもクリニック



特集：消化器内科 - 内視鏡を中心に -

消化器内科

内視鏡を
中心に

消化器とは

私たちは食物から栄養やエネルギーを吸収することで生活しています。食物は口から摂取し、食道を通って胃で細かく分解され小腸で消化吸収、残りは大腸から直腸を通り肛門から排出さ

れます。肝臓や胆のう、すい臓は消化吸収を助け、血液を通して全身に吸収したエネルギーを送っています。これらは全て、消化器と呼ばれる器官の働きによるものです。

消化器内科が扱う疾患は、下痢や腹痛、便秘、吐き気、嘔吐などの身近な病気から、潰瘍性大腸炎、クローン病といった難病、がん疾患まで実に多様です。吐血や下血など緊急の処置が必要な疾患もあります。特に胃や大腸をはじめとする消化器のがんは平成29年〜5位を占め、女性では1位、3位、4位を占めています。

当院の消化器内科は、これらの幅広い消化器疾患に対応していますが、なかでも内視鏡に関して豊富な経験を有しています。近年、内視鏡の発展はめざましく、消化器内科で行う治療や検査に欠かせないものとなっています。

今回は当院の消化器内科から、内視鏡を中心に紹介していきます。



内視鏡

内視鏡は普段見ることのできない体の内部を直接調べることができます。がんの早期発見や診断に欠かせない検査です。

また、内視鏡は見るだけでなく、様々な治療も可能です。当院の消化器内科は、内視鏡を使った手術で全国有数の症例数を誇っており、胆石や消化管出血への緊急対応も積極的に行っています。

上部消化管内視鏡（胃カメラ）

最も頻繁に行われる内視鏡で、食道、胃、十二指腸までを観察します。胃がんや食道がんの早期発見、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、ポリープ、ピロリ菌感染、炎症の診断ができます。

下部消化管内視鏡（大腸内視鏡）

直腸から結腸、回腸までを観察します。大腸がんの早期発見、ポリープや炎症性腸疾患の診断などできます。便潜血で陽性となった場合、二次検査での受診をお勧めします。

2018年実績

上部消化管内視鏡	6702件
下部消化管内視鏡	3049件
ERCP	904件
上部ESD治療	99件
下部ESD治療	36件



内視鏡で出来ること

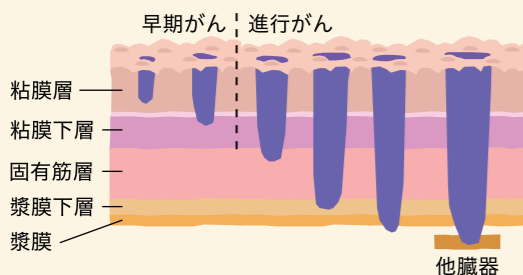
いろいろあります！

早期がん

胃や大腸は図のように多数の層からできて、がんの深さ（深達度）によって早期がん、進行がんに分けられます。条件を満たした早期がんは内視鏡による治療が可能です。内視鏡治療のメリットは、胃を温存し、機能を残したまま低侵襲な治療ができることです。

主な治療法として内視鏡的ポリープ切除術、内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）があり、病変の大きさや部位、形状などにより治療方法を決定します。

がんの深達度と内視鏡治療の適応条件



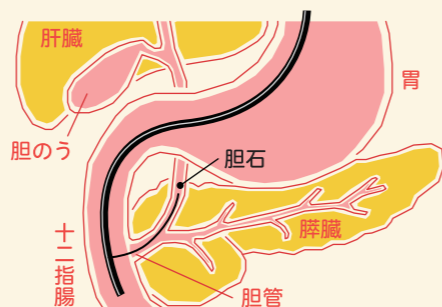
	胃	大腸
遠隔臓器への転移	なし	なし
リンパ節転移	なし	なし
がんの深達度	粘膜層まで	粘膜下層まで (1mm未達)
がんの大きさ	2~3cm	2~3cm

ERCP

（内視鏡的胆道膵管造影検査）

胆石により化膿性胆管炎や急性膵炎を発症し、黄疸や発熱がでた場合には、緊急に詰まった胆汁を排出する必要があります。総胆管にできたり、胆のうから落ち込んだりした胆石の多くはERCPで採石できます。茨城県南部は胆石が多く、当院も豊富な経験を有しています。

ERCP



内視鏡から細い管を胆管に挿入します。これにより造影剤の注入や、結石の採石、腫瘍細胞の採取などが可能です。

消化管出血

消化管出血の原因は様々ですが、吐血や真っ黒な便（タール便、黒色便）が出た場合は緊急性が高く、直ちに専門医を受診する必要があります。当院では、原則として24時間対応の緊急内視鏡検査が可能です。出血性潰瘍に対するクリップ止血や、食道静脈瘤に対するEVL（食道静脈結紮術）などを実施しています。

IBD

（炎症性腸疾患）

細菌やウイルスなど原因がはっきりしている腸炎を「特異性炎症性腸疾患」といいます。それに対し、潰瘍性大腸炎やクローン病など原因はつきりしない「非特異性炎症性腸疾患」の状態を正しく評価するためには、大腸内視鏡が欠かせません。

内視鏡だけ
じゃない!

肝臓

治療の
トピックス

肝臓は、人体に必要なタンパク質や脂質の生成、有害物質の解毒、老廃物の処理、栄養分の貯蔵、消化を助ける胆汁の生成などを行っています。肝臓は沈黙の臓器とも呼ばれ、病気になっても自覚症状に乏しいため、定期的な検診が必要です。健康診断などで肝機能の異常やウイルス感染を指摘された場合、早めに医療機関を受診しましょう。

肝臓の主な病気

肝炎

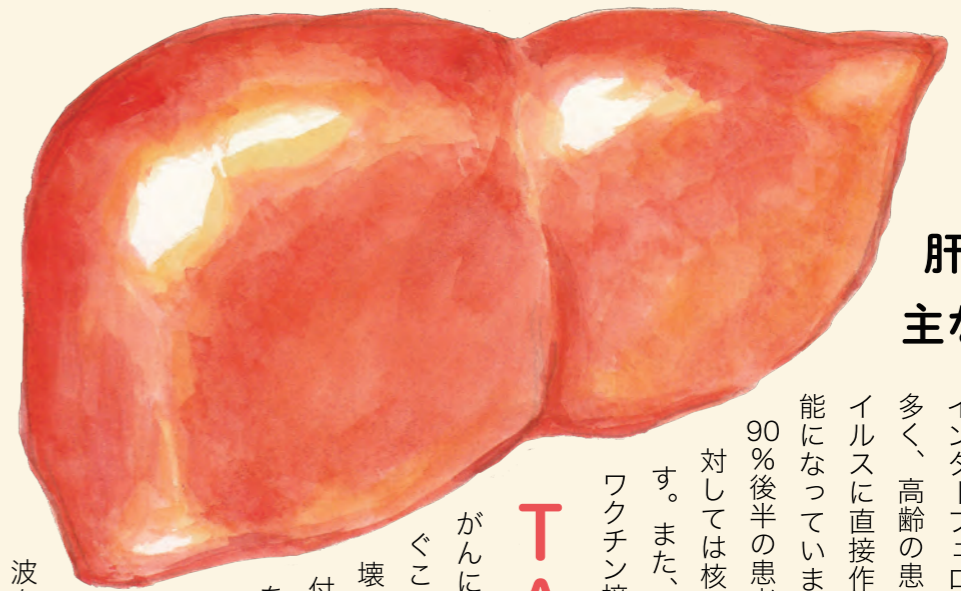
何らかの原因によって肝臓に炎症を起こす病気ですが、最も多いのがウイルス感染によるものです。ウイルス性肝炎は肝硬変や肝がんの原因にもなります。

肝硬変

ウイルス性肝炎や脂肪肝などで長期にわたり炎症が続くと細胞の再生が間に合わなくなり、肝臓が硬く小さくなった状態を肝硬変といいます。

肝がん

肝がんはウイルス性肝炎や肝硬変が主な原因とされています。また、糖尿病や肥満、飲酒・喫煙など生活習慣によるものもあります。日本では現在も年間約3万人の方が肝がんで亡くなっています。



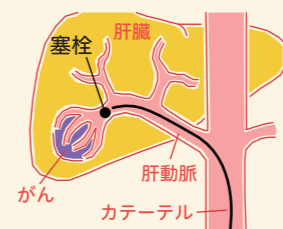
肝臓の 主な治療

ウイルス性肝炎

肝硬変、肝癌の原因の約7割はC型肝炎ウイルスです。以前はインターフェロンという注射薬による治療でしたが、副作用も多く、高齢の患者さんにはきつい治療でした。近年、C型肝炎ウイルスに直接作用する内服薬を組み合わせる治療が可能になっています。治療期間は短く、副作用も軽く、平均して90%後半の患者さんでウイルスの排除が可能です。B型肝炎に対しては核酸アナログ製剤を用いた内服治療を行っています。また、感染予防の観点からB型肝炎ウイルスに対するワクチン接種も有効です。

TACE (肝動脈化学塞栓療法)

がんが栄養を送っている血管を塞ぐことで、がんの増殖を抑えて壊死させる治療法です。足の付け根の動脈からカテーテルを挿入して、抗がん剤と塞栓物質を注入します。



RFA (ラジオ波焼灼術)

体外から針状の電極を病変にさし込み、電磁波を用いて局所的にがんを焼灼します。適応となるのは、がんの大きさが3cm以下で3個以下、もしくは単発1個で5cm以下です。これ以外の場合には手術や化学療法の適応となります。RFAは手術に比べて体の負担が少なく、同程度の治療効果が期待できます。

地域連携の視野に立った 医療サービスを提供してゆきます

消化器内科は、急な吐血・下血などの消化管出血に対していつでも24時間緊急内視鏡に対応しています。消化管出血は、血圧が低下したり、出血多量となつて生命の危険をきたしたりすることがあるため緊急の検査、処置が必要です。ほとんどは内視鏡を使った治療で止血が可能ですが、まれに内視鏡だけでは治療できない場合は、放射線科、消化器外科と連携し適宜カテーテル治療、手術対応しています。

近年は胆石や胆管結石を伴う急性胆道感染症が増加しています。化膿性胆管炎をきたしている重症例では、すぐに治療を開始しないと危険であり、速やかな治療が必要です。当科ではいつでも必要な内視鏡治療、緊急胆道ドレナージ治療に対応しています。胆道結石に対する採石治療や、悪性胆道狭窄に対するステント治療数は全国でトップクラスです。

消化管腫瘍に対してはESD内視鏡的切除治療や化学療法、肝がんに対しては塞栓療法やラジオ波治療、C型肝炎／B型肝炎に対しては抗ウイルス治療、潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患に対する治療も積極的に診療しています。

医療の発達により、より多彩で複雑な多職種連携を要する集学的治療の必要性が高まっています。当科では日頃から消化器外科、放射線科をはじめとした各部署と連携し、最善かつ迅速な処置、治療を心がけています。高齢化に伴い、他臓器の病気ををお持ちの方が少なくありませんが、当院は総合病院として優秀な診療科がそろっており連携して診療できる利点があります。

最近では、ひとつの医療機関だけの診療ではなく、地域包括ケアシステムによる地域全体での診療も求められています。当科は近隣

医療機関から多くの紹介があり、また逆に検査や治療後の方を近隣の医療機関に紹介することも多く、必要に応じて医療を提供しています。当科で行う高度医療を必要とする医療圏は大変広く、必要な時に十分な医療を提供するべく地域の医療機関と連携し診療にあたっています。

Profile

草野 史彦

1991年山梨大学医学部卒業。東京医科歯科大学医学部附属病院第二内科、武蔵野赤十字病院などを経て2000年東京医科歯科大学大学院卒業。同年4月より土浦協同病院消化器内科勤務。2006年4月に内科部長、2010年4月に内科部長に就任。

Interview

消化器内科部長 草野 史彦



看護部 看護補助者
介護福祉士 陽田 澄子 **no.25**



少しでも快適な
入院生活が送れるように

外科、婦人科、乳腺外科病棟に入院されている患者さんの清拭や移送など看護の補助を行っています。

もともとは、ヘルパー2級という資格のもと、看護補助者として働いていました。日々の業務を行うなかで、患者さんから感謝の言葉をいただく機会が何度かありました。その時に、自身の経験や知識を向上させることが患者

さんのQOLを向上させる一因になるのではないかと考え、介護福祉士の資格を取得しました。

資格取得に際しては不安もありましたが、娘や職員の皆さんにも背中を押してもらい、挑戦することができました。私にとってこの経験は大きな自信にもなっています。学んだ知識や技術を活かし、今後も病気に苦しむ患者さんのそばに寄り添い、少しでも快適に入院生活が送れるよう努めていきたいです。

勤続年数：12年 趣味：ライブ鑑賞



鶴沼公園

江戸時代半ばの天明年間から200年以上にわたる、かすみがうら市を流れる一の瀬川の水源として、周辺の地域を潤してきた貴重なため池です。鶴沼は、農業用水施設としても重要な役割を果たしてきました。

めコガモなどの水鳥のほか、運がよければカワセミの姿も観察できます。池の周囲には約1.3キロの遊歩道が整備されています。軽い運動に最適な長さで、西方に筑波山を眺めながら歩くことができる素晴らしい散歩コースとなっています。

ふれあい
地域とふれあい、地域を知ろう



鶴沼公園
土浦市菅谷町 1461

効率よく丁寧に、を
心掛けて

私たち調理師は、入院患者さんに提供する食事の調理を行っています。献立は管理栄養士が栄養バランスを考慮して作成し、調理師は献立をもとに下処理から調理、盛り付けまでを担当します。

当院ではニュークックチルシステム（新調理システム）を導入しており、徹底した温度管理の下で計画生産を行い、効率よく給食を提供する

ことができます。

基本的に1回の提供で4〜500食を用意します。それが朝昼晩と3回あるため、効率よく調理する必要があります。また、食事は入院生活の楽しみでもあると思います。量をこなすだけでなく質にも気を配り、丁寧に調理することを心掛けています。

調理師は患者さんと直接の関わりはありませんが、よりよい食事を提供できるよう努力を続け、治療に貢献していきたいと考えています。

勤続年数：9年 趣味：スポーツ観戦

栄養部 調理師
千ヶ崎 敏宏 **no.26**





かけはし

地域の健康をまもる
連携医療機関の紹介

Vol.15

医療法人社団 白浜会 ひろたこどもクリニック

住所：茨城県土浦市文京町 11-3
電話：029-827-4150
診療科：小児科、内科、循環器科
休日：日曜、祝祭日、学会等
URL：hirotacc.com/index.html
その他：保護者、同伴者、おとなの方の診察も可能です

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (09:00 ~ 12:30)	○	○	○	○	○	※	休
午後 (15:00 ~ 19:30)	○	○	△	○	○		

※土曜の診療時間は 9:00 ~ 15:00 となっています
※平日午後の受付は 19:00 までです (時間を過ぎる際はご連絡ください)
※水曜の午後 (△) は予約外来となります

ご挨拶
平成17年3月に土浦市で小児科を開業して今年で14年目を迎えました。一般診療、予防接種、乳児検診をはじめ、土浦市急患センターの担当、市の乳幼児検診、保育園、学校検診を行っています。
小児科の医療は、この10年間で停滞していた予防接種が充実されたことにより、子供の重篤な感染症は大きく減少しました。しかし、食物アレルギーや喘息などのアレルギー疾患、精神疾患は増加傾向にあります。これらの子どもたちも、できる限り地域医療として診療を行っていく所存です。
地域医療を行っていく中で、土浦協同病院の様に24時間体制で患者さんを受け入れていただける病院が側にあることは、大変ありがたいことです。しばしば、夜遅くなど無理なお願いをすることもありますが、いつも親切な対応をいただきたいと思います。
これからも、子どもたちと、保護者の方々に、安心と確かな医療が提供できるよう心がけていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

アクセスマップ



広田 浜夫 院長



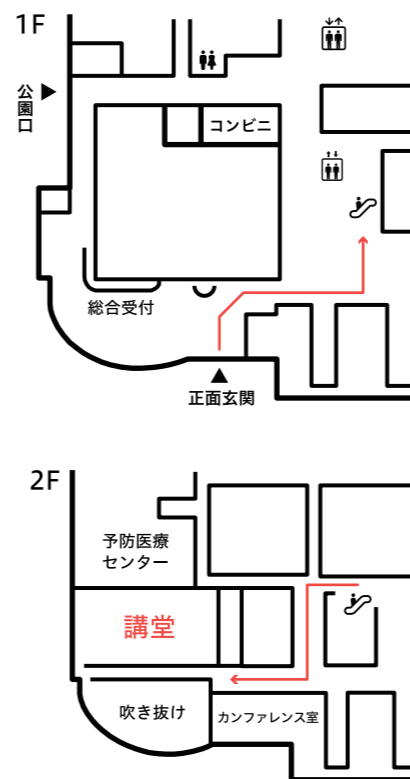
講 堂

院内探訪 facility

11

土浦協同病院には様々な施設があります。快適に過ごしていただくための施設から、見つけたらちよっとうれしい「なにか」まで、院内のあらゆるスポットを紹介いたします。

☑ アクセス



正面玄関から右に曲がり、エスカレーターを上がってください。左に2回曲がったら突き当たりを右に曲がると講堂入口になります。

プレイ研修会もここで行われ、たくさんの職員が参加しました。そのほか、医療従事者に向けて勉強会なども行われています。地域に開かれた病院として、今後も積極的に活用していきたいと考えています。



正面受付の吹き抜けに見えるシエードは霞ヶ浦の帆曳船がモチーフとなっています。講堂はその奥、2階に位置し、様々な催し物に使われています。
患者さんや一般の方向けには、当院が主催する市民公開講座の会場として使われています。約350名が収容可能で、基本的には無料となっています。市民公開講座の開催については、ホームページや院内配布物、広報誌等にて情報を発信しています。興味のある方はお気軽にご参加ください。
また、当講堂は新入職員の辞令交付式や、職員向けの研修会でも使用されています。日総研の接遇大賞を受賞したロール



がん看護 サポートチーム

がん看護のスペシャリスト

土浦協同病院には、がん看護のスペシャリストがいます。患者さん・ご家族と一緒に、治療の準備や副作用対策、生活で困っていること、療養環境の調整など、個々の悩み解決を共に考える取り組みをしていきます。ひとりで悩まず、ぜひご相談ください。

- ・がんと診断されてどうしてよいかわからない
- ・治療の副作用が怖い
- ・仕事や生活のことが心配
- ・治療の選択に困っている

■相談窓口

患者サポートセンター

あるいは各外来ブロック窓口、外来・病棟看護師
電話：029-830-3711（代表）

「がん看護サポートチームに相談したい！」

と、お伝えください。



患者さまの声

→ voice

土日に入院患者を見舞う際に困っていることがあります。私自身の足が杖を必要としているために、平日はカートを使用させていただくのですが、土日は正面玄関が閉まってしまい使えません。カートを車椅子と同じように裏の入口に置いていただけませんか。

※一部抜粋

← answer

土日に限り、夜間通用口（裏口）にカートを設置いたしましたのでご使用ください。今後も皆様が少しでも使いやすいように改善してまいります。貴重なご意見をいただきありがとうございます。ございました。



鶴沼公園

編集後記

今回は内視鏡を中心に紹介しましたが、いずれ機会があれば違う角度からも紹介したいと思います。次号の touch は 8 月 31 日発行予定です。バックナンバーは当院ホームページから閲覧できます。

touch（タッチ）は土浦協同病院の広報誌です。地域とふれあい、私たちの理念を地域の皆様にお届けしたい、という願いを込めています。

発行所／総合病院 土浦協同病院
編集／病院機関誌委員会 地域医療連携室
協同メディカルサービス株式会社
発行人／酒井義法
MAIL／general@tkgh.jp